



しみず ちかこ  
3年 | 清水 睦子さん [ 岡山県立岡山一宮高等学校 出身 ]

### ■ 願書を書くことで将来の夢が明確に!

0歳から保育園に通っていたからか、私は子どもが大好きで「将来は保育士に」という夢を抱いていました。国立大学の教育系学部を進路に掲げるものの、高3の7月下旬まで部活動中心の生活で一般入試には不安が。そんな時、「鳥大にAO入試があるぞ」と顧問の先生が教えてくれたんです。しかも、幼稚園教諭・保育士両方の免許が取得できる。最後の大会終了後すぐ入試態勢に。入学志願票には苦労しました。書きたいことはたくさんあるのに、うまくつなぐことができなくて。でも、文章に表すことで頭が整理され、「地域の教育現場を縦横につなぐキーパーソンになりたい」という具体的な目標が見えてきたんです。モチベーションもUPしました。

### ■ 2次選考は過去問を駆使して練習あるのみ

高校に残っていた過去問をチェック、小論文は願書提出後から継続して練習。自分が書いた小論文を基にプレゼンする形式の「口頭発表」では、順番待ちの間にすばやく考えを整理、思いが伝わるように心がけました。どちらも難しかったけど、実体験と絡めてまとめるのがコツですね。ディスカッション練習は、AO・推薦仲間と週1ペースで。1回に4テーマと、とにかく数をこなしました。私は思いつきで発言しちゃうので、前置きが長くなり、結局何が言いたいのか分からなくなってしまいうタイプ。「まず最初に結論、後で理由を述べる形で」という先生のアドバイスが役立ちました。入試対策は万全に。それが自信と余裕につながりますよ。

### ■ AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 4人

【趣旨】学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成をめざしています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多元的に総合評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
- 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人
- 大学での学習を通じて自己の価値観を築き上げようとする人

鳥取のお気に入り

### 日本海の海鮮は旨さ規格外!

日本海に面している鳥取は漁港が多く、魚が抜群に美味しい。オススメは魚定食専門の「おはよう堂」。刺身の分厚さがハンパないんです。みんなでシェアできるぐらいボリュームも満点。

## 平成26年度AO入試第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成26年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成27年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

### 全体を通して求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力のある人を求めます。

小論文	教育観に関する英文資料(A4版で1枚)及び日本文資料(A4版で3枚)を読み、120分で5問の設問に答えるものでした。設問の内容は、解答文字数300字のものが2問、図解をさせるもの(文字数の制限なし)が1問、及び問題文の読み取りの正確さを問うものが2問でした。
口頭発表	小論文で作成した図解を、1人あたり10分(発表7分、質疑応答3分)で発表するものでした。
グループディスカッション	1グループ10名で、「子ども達にとっての理想の学校はどのようにすればつくれるか」をテーマとした、90分のグループディスカッションを行いました。なお、進行については、司会を含む役割分担を受験生が決めて行いました。また、ディスカッションの後、受験生全員による提言についてのプレゼンテーションを行いました。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。